

2025 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会

ミドル・ディスタンス、リレー競技部門

要項 2.1

発行日：2025 年 12 月 31 日（水）

発行者：2025 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会

ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

発行責任者：松本 萌恵（実行委員長）

編集責任者：竹重 拓輝（広報責任者）



要項 2 からの更新点は黄色マーカーで強調しています。

変更点は以下の通りです。

- [モデルイベント・開会式タイムスケジュールを変更（p.3）](#)
- [モデルイベント参加費が大会参加費に含まれることを明記（p.10）](#)
- [モデルイベントでは SI カードを使用しないことを明記（p.10）](#)
- [モデルイベントの交通案内を変更（pp.12-13）](#)

はじめに

本大会では、日本学生オリエンテーリング選手権実施規則第 2.1 項に定められた「個人ミドル・ディスタンス競技部門」及び「3 名のリレー競技部門」（以下、**選手権の部**）を実施します。また、選手権の部に出場しない日本学連加盟員のための競技部門（以下、**一般の部**）を併設開催します。

略称・呼称

本要項では、以下の略称・呼称を使用することがあります。

略称・呼称	正式名称
インカレ実施規則	日本学生オリエンテーリング選手権実施規則 (2025 年 4 月 5 日全文改正)
日本学連	日本学生オリエンテーリング連盟
競技者	「日本学生オリエンテーリング連盟規約」 (2025 年 4 月 5 日改正) 第 5 章によって定められた 競技者登録がなされている者
選手権の部	インカレ実施規則第 2 条第 1 項に定められた ミドル・ディスタンス競技部門、リレー競技部門
一般の部	選手権の部に出場しない日本学連競技者のための競技部門

開催日

2026 年 **3** 月 **13** 日（金）、**14** 日（土）、**15** 日（日）

- 3 月 13 日（金）：モデルイベント、開会式

- 3月14日(土)：ミドル・ディスタンス競技部門
- 3月15日(日)：リレー競技部門、閉会式

※ 内容の一部変更、延期、中止の判断を行う可能性があります。

開催地

三重県伊賀市 青山高原周辺

主催

日本学生オリエンテーリング連盟

主管

2025 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

	ミドル・ディスタンス競技部門	リレー競技部門
実行委員長	松本 萌恵 (神戸 19)	
競技責任者	二俣 真 (京都 19)	
運営責任者	近藤 花保 (名古屋 19)	
コース設定者	井土 宙 (静岡 19)	祖父江 有祐 (筑波 19)
イベント・アドバイザー	藤本 拓也 (京都 16)	
	山本 明史 (京都 15)	

主管者連絡先 (お問合せはこちらをお願いします)

実行委員会問合せ用アドレス (ミドル・ディスタンス、リレー競技部門共通)

e-mail: icmr2025info@gmail.com

後援

伊賀市、伊賀市教育委員会、三重県オリエンテーリング協会

大会公式 Web サイト

URL: <https://icmr2025.web.app>

タイムスケジュール

大会準備の都合上変更する可能性があります。

13 (金)

モデルイベント
開会式

時刻	内容
8:30	開場 地図配布開始
10:00	入山開始
13:30	入山終了
14:30 ↓ 15:30	開会式
16:00	会場閉鎖

※入山時間を午前と午後に分割していましたが、統合しました。

14 (土)

ミドル・ディスタンス
競技部門

時刻	内容
7:30	開場
9:00	一般の部 スタート開始
11:30	選手権の部 スタート開始
15:00	フィニッシュ閉鎖
16:00	会場閉鎖

15 (日)

リレー競技部門

時刻	内容
8:00	開場
9:30	リレー スタート
14:00	フィニッシュ閉鎖
16:00	会場閉鎖



1

競技情報

競技形式／地図仕様

競技形式／競技区分	地図仕様			
	縮尺	等高線間隔	走行可能度	地図表記
ミドル・ディスタンス競技	1:10,000	5 m	4 段階表示	ISOM2017-2 準拠
リレー競技				

パンチングシステム

全てのクラスにおいて、SPORTident 社製電子パンチングシステムを使用します。

トレイン概要

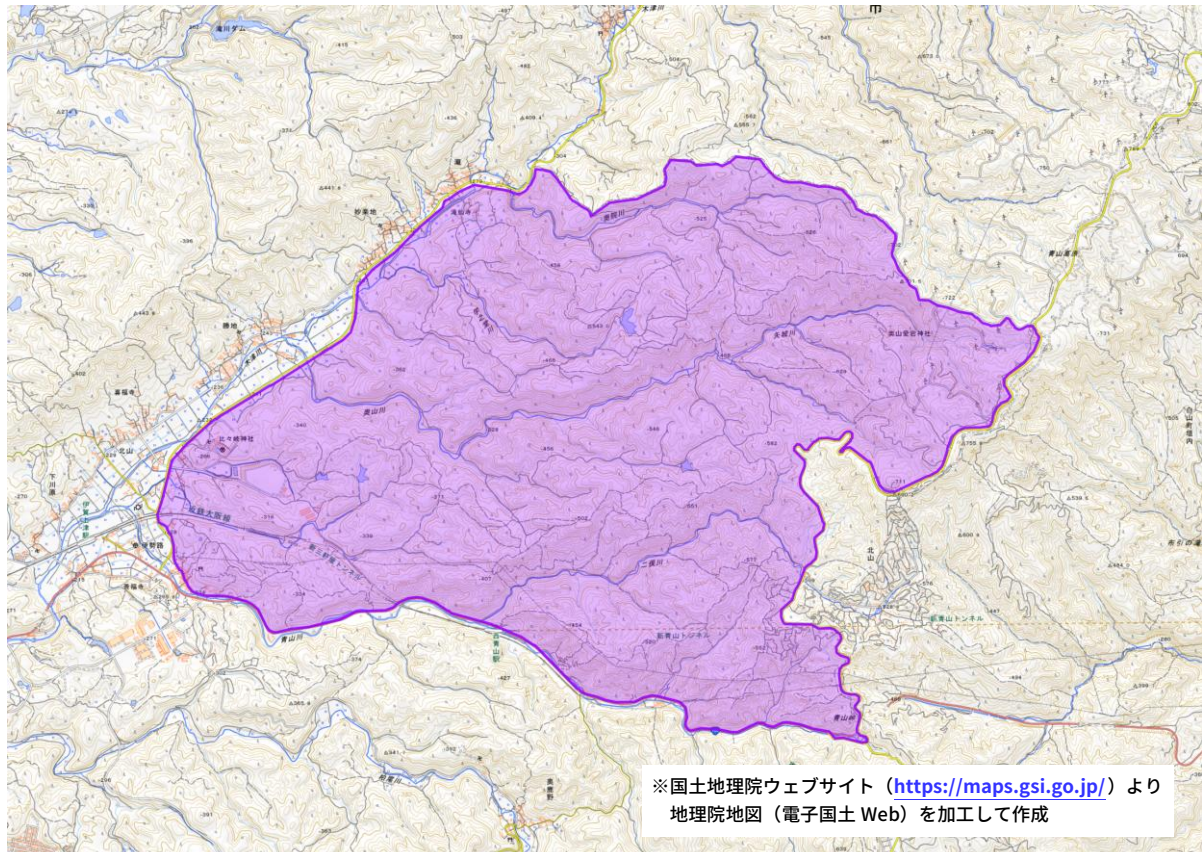
青山高原の西側、標高約 200～450m に位置するトレインです。尾根・沢が複雑に発達しており、斜面は急峻であることが多いですが、尾根線・沢線上には比較的緩やかなエリアも見られます。沢線には伐採により走行可能度が低下しているエリアが散見される一方、尾根線には比較的走行可能度が高いエリアが多く存在します。小道・小径も発達しています。インカレに相応しいトレインです。（ICMR2021 要項 2.2 より一部引用）

＜競技責任者 二俣 真＞

立入禁止区域・クローズトレイン

本大会への参加を予定している者（チームオフィシャル^{※1}、併設大会参加者^{※2} 含む）および観戦を予定している者は、本大会終了までの期間、以下に示す区域へのオリエンテーリング目的（トレイン視察含む）での立入を禁止します（競技参加時を除く）。なお、立入禁止区域周辺道路の利用は妨げません。

- ※1 本大会参加校は、チームオフィシャルとして選手のサポートを行う者を登録することができます。チームオフィシャルについての詳細は、p.9をご覧ください。
- ※2 本大会には日本学連競技者のみ出場可能ですが、日本学連競技者以外の方を対象とした併設大会を開催する予定です。詳細は 12 月頃発行予定の併設大会要項をご覧ください。



また、立入禁止区域の設定に伴い、下記トレインをクローズします。クローズトレインの旧地図は[大会公式 Web サイト](#)に掲載しています。

クローズトレイン

「青山高原 2022」日本学生オリエンテーリング連盟 2022 年作成

トレーニングトレイン

本大会ではトレーニングトレインを設けません。

モデルイベント

モデルイベントを以下の通り開催します。

開催日	2026 年 3 月 13 日（金）
開催地	青山高原
会場	伊賀市 上津地区市民センター (Google Map)
地図仕様	実際に競技に使用する地図と同一（縮尺・作成基準含む）
参加費	本大会の参加費に含まれます。
地図配布方法	別途大会公式 Web サイトにて告知します。

ドーピング検査

- 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。本大会参加者およびチームオフィシャルは、日本アンチ・ドーピング規程に従わなければなりません。
- ドーピング検査の対象となった本大会参加者は競技役員の指示に従って検査を受けなければなりません。なお、身分証明のため、本大会参加者は学生証・運転免許証等、写真により本人確認ができるものを持参してください。
- 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになります。
- 血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となります。
- 禁止物質や禁止方法であっても、事前に所定の手続きによって治療使用特例（TUE）が認められれば、例外的に使用することができます。原則として TUE が必要な大会の 30 日前までに申請を行ってください。
- 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容及びドーピング検査並びに TUE については、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の [Web サイト](#)にて確認してください。
- ミドル選手権クラス出場者はアンチ・ドーピングの e ラーニングの受講が必須になります。詳細は日本学連からの案内に従ってください。



2

クラスと参加資格

ミドル・ディスタンス競技部門

選手権の部

◆ クラス情報

クラス	優勝設定時間
男子選手権 (ME)	30-35 分
女子選手権 (WE)	

- 各選手権の優勝者をミドル・ディスタンス競技選手権者とします。
- 優勝設定時間はインカレ実施規則第 11 条第 2 項に定められた時間です。

◆ 参加資格

以下 2 点を共に満たす選手が「選手権の部」に参加することができます。(日本学生オリエンテーリング選手権ミドル・ディスタンス競技部門 競技者数及びその配分に関する規則による。)

- 日本学連に競技者登録されていること。
- ランキング内定者枠、地区学連枠、前年度個人実績枠のいずれかで出場資格を得ていること。

<ランキング内定者枠>

インカレミドル開催年度のインカレミドル選手権クラス枠配分用ランキングにおいて男子は上位 8 名の選手、女子は上位 4 名以内の選手が出場資格を持ちます(前年度個人実績枠に該当する選手を除く)。対象者は後日決定されます。

<地区学連枠>

各地区学連の競技者数配分は、後日日本学連技術委員会により決定されます。なお、出場者の選出方法は各地区学連で定められています。

<前年度個人実績枠>

以下の者は、ランキング内定者枠、地区学連枠とは別に前年度個人実績枠による出場資格を持ちます。

クラス	選手権の部の出場資格者				
男子選手権 (ME)	及川 悠太郎 (筑波 4)		寺嶋 謙一郎 (東農オホーツク 4)		
女子選手権 (WE)	山崎 葵 (筑波 4)	川瀬 智尋 (奈良女 4)	落合 英那 (京都 4)	中館 美卯 (横国 3)	砂田 優萌子 (お茶女 4)

一般の部

◆ クラス情報

クラス		対象	参加資格	優勝設定時間
	MUA	男子上級者	日本学連登録 2 年目以上の男子	25-35 分
	MUB	男子中級者		
	MUF	男子新人		
	WUA	女子上級者	日本学連登録 2 年目以上の女子	
	WUB	女子中級者		
	WUF	女子新人		

- 申し込み多数のクラスについては、複数のクラスに分割します。
- クラスの選定については、日本学連発行の「[インカレ一般クラス棲み分けに関するガイドライン](#)」をご参照ください。

リレー競技部門

選手権の部

◆ クラス情報

クラス	優勝設定時間 (3 人合計)
男子選手権 (MER)	105-135 分
女子選手権 (WER)	

- 各選手権の優勝校をリレー競技選手権校とします。
- 優勝設定時間はインカレ実施規則第 11 条第 2 項に定められた時間です。

◆ 参加資格

- 各校は男女それぞれ 1 チームのみ出場させることができます。
- 日本学連に競技者登録されている 3 名から構成されるチームであることが必要です。
- 「加盟と競技者登録に関する細則」第 5 条 1 項に定められている合同加盟を行っている場合は、代表となる構成校の名称でチームを出場させることができます。

<インカレリレー特例措置>

選手権の部にチームを構成できない参加校は、複数校にまたがって特例チームを構成し、参加することが可能です。特例措置を希望する参加校は、p.11 の「特例措置の申請」に従って申請してください。

- 詳細は日本学連発行の「[インカレリレー特例措置に関するガイドライン](#)」を参照してください。
- 特例措置にて構成されたチームは参考記録とし、表彰対象外とします。

一般の部

◆ クラス情報

クラス	対象	チーム編成	参加資格	優勝設定時間 (1人あたり)
MAR	男子上級者	男子3名	大会開催期間において日本学連競技者であること	20-30分
WAR	女子上級者	女子3名		
XAR	上級者	男女各1名以上を含む3名		
MAS	男子上級者個人	男子1名		
WAS	女子上級者個人	女子1名		
BR	中級者	3名		
BS	中級者個人	1名		

- BR/BSの難易度は、ミドル一般の部のFクラス～Bクラス相当です。
- MAS/WAS/BSは一斉スタート方式の個人競技です。
- BRのチーム編成については、男女の人数を問いません。
- 構成員の所属が複数校にまたがるチーム編成も認めますが、各校につき2チームまでに限ります。複数校にまたがるチームも正規チームとして認め、公式記録として扱います。

チームオフィシャル

参加校はチームオフィシャルを登録することができます。ミドルカリレー、どちらか一方の競技のみの出場でも登録可能です。チームオフィシャルは、ミドル競技及びリレー競技の選手権の部スタート地区において、選手のサポート、および各競技前日開催の代表者ミーティングへの参加が可能です。

各校に認められるチームオフィシャルの人数は、以下の通りです。

- 男子選手権の部への選手登録に対して最大2名まで
 - 女子選手権の部への選手登録に対して最大2名まで
(各校最大で合計4名まで登録可能)
- ※ リレー競技の選手権の部に、複数校による特例チームで出場する場合は、特例チームを構成する大学の数だけチームオフィシャルを登録することが可能です。
- ※ 3月13日(金)にミドル・ディスタンス競技部門の代表者ミーティング、3月14日(土)にリレー競技部門の代表者ミーティングを行います。詳細は要項3(プログラム)でご案内します。選手またはチームオフィシャルが参加可能です。



3

参加申し込み

エントリー方法

本大会の申し込みはナビゲーションスポーツ専用参加申し込みシステム **Japan-O-entrY** 上で行います。以下の URL にアクセスし、画面指示に従ってお申し込みください。

ミドル・ディスタンス競技部門

<https://japan-o-entrY.com/event/view/2286>

リレー競技部門

<https://japan-o-entrY.com/event/view/2282>

申し込み締め切り日

2026 年 1 月 12 日（月・祝）

入金締め切り日

2026 年 1 月 16 日（金）

参加校ごとに、Japan-O-entrY の団体申し込み機能を使って申し込んでください。詳細については大会公式 Web サイトにて公開する別紙「申し込みの手引き」をご覧ください。

参加費

区分	項目	単位	金額
ミドル・ディスタンス 競技部門	基本参加費	1 人	4,500 円
	「選手権の部」登録費	1 人	1,500 円
リレー競技部門	基本参加費	1 人	4,500 円
	「選手権の部」登録費	1 チーム	4,500 円
共通	チームオフィシャル登録費	1 人	8,000 円
オプション	SI カードレンタル	1 日・1 枚	300 円

- リレーオーダーは、別途要項 3 に記載する方法により大会の 1 週間前から登録を受け付けます。
- 本大会の報告書は大会公式 Web サイトでの公開のみとし、販売は行いません。
- レンタル SI カードを紛失、破損した場合は 1 枚につき 9,000 円の追加料金をいただきます。
- 入金締め切り日までに入金がない場合、予告なく申し込みをキャンセル扱いとすることがあります。必ず締め切り日までに入金をお願いします。
- やむを得ない事情により大会が中止になった場合でも、参加費の返金はいりません。あらかじめご了承ください。
- モデルイベントの参加費は本大会の参加費に含まれます。
- モデルイベントでは SI カードは使用しません。

地図販売

本大会で使用する地図の購入は、当日に会場にて受け付けます。事前の購入希望の受け付けはありません。

なお、日本学連賛助会員の方は賛助会員特典として本大会で使用する地図を受け取れます。特典地図の受け取りは、別途併設大会のエントリーサイトで申し込みを受け付けますので後日のご案内をお待ち下さい。

インカレリレー特例措置の申請

「インカレリレー特例措置」を希望する学校は、以下に従って申請してください。

◆ 申請方法

- メール件名に「【エントリー】【学校名】インカレリレー特例措置の申請」と記載の上、エントリー問い合わせ連絡先へ申請してください。
- 申請期限は参加申し込みと同様に **2026 年 1 月 12 日（月・祝）** とします。

エントリー締め切り後の内容変更

エントリー締め切り日（2026年1月12日）以降はエントリーの追加など金額の変更が発生するエントリー内容の変更は認めません。ただし、マイSIカードからレンタルSIカードへの変更や参加者キャンセル、チームオフィシャルの変更など、出場にあたりやむを得ない変更についてはこの限りではありません。これらの場合はエントリー問い合わせ先までご連絡ください。

なお、エントリー締め切り日以降はいかなる場合においても参加費の返金はありません。

エントリー問い合わせ連絡先

主管者連絡先と共通です。

実行委員会問い合わせ用アドレス（ミドル・ディスタンス、リレー競技部門共通）
e-mail: icmr2025info@gmail.com



4

宿泊・輸送

宿泊

本大会では宿泊の案内は行ないません。

大会期間中の交通

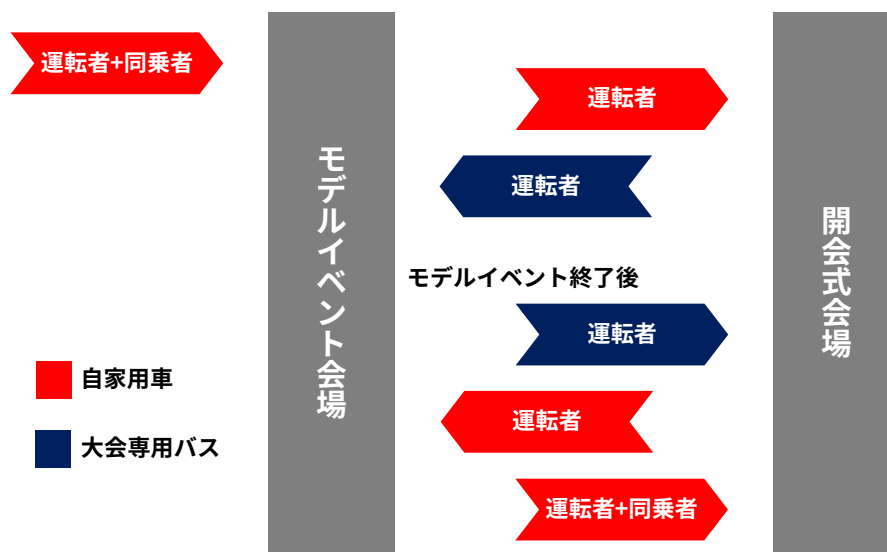
3月13日（金）のモデルイベントおよび開会式、14日（土）と15日（日）の大会期間中は原則公共交通機関または自家用車での移動をお願いいたします。

13日（金）のモデルイベント会場と開会式会場間の移動では、自家用車のドライバーおよび公共交通機関利用者向けに大会専用バスを運行する予定です。

駐車

◆3月13日（金）

- 開会式会場兼駐車場：伊賀市青山ホール（[〒518-0226 三重県伊賀市阿保 1411-1](tel:0518-0226)）
- モデルイベント会場：伊賀市上津地区市民センター（[〒518-0204 三重県伊賀市北山 1345-1](tel:0518-0204)）
- モデルイベントスケジュール変更に伴い、以下の交通案内は変更する可能性があります。確定次第、発行資料にてお知らせいたします。
- モデルイベント会場には駐車場はございません。自家用車利用のモデルイベント参加者は、運転者以外がモデルイベント会場で降車し、運転者は車を開会式会場に停めた後大会専用バスにてモデルイベント会場へ向かっていただきます。
 - モデルイベント参加時 駐車の流れ
 - モデルイベント会場で運転者以外が降車
 - 運転者は開会式会場へ移動し駐車
 - 開会式会場からモデルイベント会場へ大会専用バスで移動（モデルイベント午前の部終了後）
 - 運転者はモデルイベント会場から開会式会場へ大会専用バスで移動
 - 運転者は開会式会場からモデルイベント会場へ自家用車で移動
 - 運転者以外が乗車、開会式会場へ移動し駐車、開会式参加



- 申し込み時は駐車場利用予定台数をご記入ください。目安でも構いません。

- 貸し切りバスを利用予定の場合、自家用車の台数次第では開会式会場にバスを駐車できない可能性があります。開会式会場にバスは駐車できません。近隣でバスの駐車場所を確保することをご検討ください。

◆3月14日（土）および3月15日（日）

- 大会会場：神村学園高等部 伊賀校（[〒518-0204](tel:0518-0204) 三重県伊賀市北山 1373 番地）
- 駐車場および移動手段については後日発表します。



5

観戦・併設大会

観戦

本大会の観戦は自由とします。後日発行する要項 3 に従って観戦してください。

併設大会

日本学連競技者以外の一般の方を対象とした併設大会を、本大会と同時に開催する予定です。
詳細については[大会公式 Web サイト併設大会ページ](#)にてご確認ください。

申し込みについては、12 月頃発行予定の併設大会要項をご参照ください。

— 要項 2 おわり —

2025 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス競技部門、リレー競技部門

プログラム広告募集

要項 3（プログラム）に掲載する広告を募集します。募集内容については以下をご確認ください。
母校の学生に向けた応援メッセージ、地域クラブの広告、大会告知など、多数のお申し込みをお待ちしております。

要項 3（プログラム）掲載広告

	1コマ (1/8ページ)	2コマ (1/4ページ)	4コマ (1/2ページ)	8コマ (1ページ)	16コマ (2ページ)
縦×横 (mm)	67×85	67×170 or 134×85	134×170	267×170	267×170 ×2ページ
営利団体	14,000円	22,000円	38,000円	66,000円	110,000円
非営利団体	7,000円	11,000円	19,000円	33,000円	55,000円

<注意事項>

- 要項 3 の印刷・配布は行いません。PDF ファイルとして発行し、Web サイトに掲載します。
- 1 ページのサイズは A4 です。
- 原稿は次のいずれかの形式で受け付けます：JPEG, BMP, PNG, PDF
- 原稿は必ずサイズをご確認の上で作成ください。申し込みサイズと原稿のサイズが異なる場合は、実行委員会でサイズを調整します。
- ファイルサイズが大きい原稿は圧縮して掲載する場合があります。
- 広告の掲載順は実行委員会で決定します。指定はできません。
- 要項 3（プログラム）広告掲載費用は、大会開催の如何に依らず、要項 3（プログラム）が発行された場合に請求いたします。要項 3（プログラム）発行前に大会の中止が決定した場合、広告掲載費用は請求いたしません。

申し込み方法

[Google Form](#) に必要事項を入力の上、お申し込みください。

申し込み締め切り

2026 年 1 月 25 日（日）23:59 厳守

広告原稿提出締め切り

2026 年 2 月 1 日（日）23:59 厳守

- 原稿の提出先は申し込み完了後にお知らせします。
- 提出確認後、締め切り日の 3 日後までに確認のメールを送付します。

広告掲載費用の請求について

広告掲載費用および振り込み先については、要項3発行後もしくは大会開催後、申し込み時にご記入いただいた連絡先にご連絡いたします。

問い合わせ先

主管連絡先とは異なりますのでご注意ください。

要項3（プログラム） 広告 問い合わせアドレス

e-mail: icmr2025ad@gmail.com

アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょう？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、素晴らしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構